

# 第41回 全国学童保育指導員学校 北関東会場

【全体会】堀原運動公園内 茨城県武道館  
〒310-0045 水戸市新原2-11-1 ☎ 029-251-8444  
<http://www.ibaraki-sports.or.jp/horihara/09access/index.htm>

【講座】茨城大学 水戸キャンパス  
〒310-8512 水戸市文京2-1-1 ☎ 029-228-8111  
<http://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/>

※「茨城県武道館」と「茨城大学」間は徒歩10分です。

## ●公共交通機関の場合

JR常磐線

- ①水戸駅下車 北口より茨城交通バス乗車約25分
- ・5番乗り場路線番号11「茨大前営業所」行き乗車、「武道館前」で下車
- ・7番乗り場路線番号22、24(12、40も可)に乗車、「茨大前」で下車、徒歩5分
- ②赤塚駅下車 北口3番乗り場より茨城交通バス(運行数少ない)路線番号19または24乗車約15分「茨大前」下車、徒歩5分。

## ●車の場合：常磐自動車道

- ①水戸インターチェンジより約20分
- ②ETC専用水戸北スマート出口より国道123号線へ約10分(※上り車線の出車不可)
- ③那珂ICより約30分
- ◆貸し切りバスは「茨城県武道館」に、自家用車は「茨城大学」に駐車してください。



読んで、話して  
もっともつなごう  
『日本の学童ほいく』  
since 1974

日本で唯一の学童保育の専門誌『日本の学童ほいく』は指導員と父母で企画を立てて、記事も書いている手づくりの子育ての月刊誌です

# 第41回 全国学童保育指導員学校 北関東会場

## 2016年 6月19日(日)

【全体会】茨城県武道館  
【講座】茨城大学  
水戸キャンパス(茨城県水戸市)

主催：全国学童保育連絡協議会  
後援(予定)：茨城県、茨城県教育委員会  
水戸市、水戸市教育委員会

# 第41回 全国学童保育指導員学校 北関東会場

全国学童保育指導員学校は、学童保育指導員(放課後児童支援員等)の資質向上を目的とした研修会です。開催40回の実績を持ち、全国から現任指導員はもちろん、指導員を目指す人、行政職員、保護者等が参加し、秀大な講師による全体講義と講座(入門講座、理論講座、実践講座、実技講座、特別講座)により、学習・交流を積み重ねています。子どもたちの放課後の生活をより豊かにするため共に学びましょう。

- とき 2016年6月19日(日) 9:30am.受付開始
  - ところ 【全体会】茨城県武道館(茨城県水戸市新原：堀原運動公園内)  
【講座】茨城大学 水戸キャンパス(茨城県水戸市)
  - 受講料 2,000円 弁当代別 700円(飲み物付き/希望者のみ)
  - 内容 9:30 10:15 12:15 13:30 16:30
- | 日程 | 受付 | 全体会 | 昼食 | 講座(20教室) |
|----|----|-----|----|----------|
|----|----|-----|----|----------|



- 全体会
  - 基調報告
  - 全国学童保育連絡協議会
  - 全体講義



これまで大切にしてきたこと、  
これからも大切にしたいこと  
～子ども・子育て支援新制度の節目に～

【講師】片山恵子

(埼玉県さいたま市指導員、元全国学童保育連絡協議会会長)

徳島県生まれ。指導員歴40年、全国学童保育連絡協議会会長、副会長を歴任。自身も4人の子を育てながら働き続けてきた。著書・共書に『ぶつかりながら大きくなあれ』(一声社)、『一筋縄ではいかないのです』『入門ガイド 学童保育指導員』(大月書店)、『子どもをわがものという』(ひとなる書房)等。



## ■お申し込み

- 申し込み方法 原則として事前申し込み制です。  
受講料2,000円・弁当代700円(希望者のみ)を郵便振替で入金し、郵便為替払込書兼受領書のコピーと必要事項を記入した参加申し込み書を、郵送してください。(できるだけ地域やクラブでまとめてください。また、郵便振替の通信欄に金額の内訳をお書きください)
- 受付期間 申し込みの締め切りは5月31日(火)です。弁当と保育を必要とされる方は、特に厳守してください  
当日参加も可能ですが、午後の講座は定員があり先着順となりますので、なるべく事前にお申し込みください。
- 申し込みキャンセル 6月10日(金)までにご連絡ください。受講票が10日(金)までに届かない場合はお問い合わせください  
6月11日(土)以降にキャンセルした場合は、返金できません。

## ●お申し込み・申し込みの問い合わせ先は●

埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1 47-1 藤本ビル3F  
TEL: 048-644-1571  
e-mail: gakuoust@yahoo.co.jp

郵便振替 00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

## ●会場と内容についての問い合わせ先は●

茨城県学童保育連絡協議会

〒312-0058 茨城県ひたちなか市西光地1-4-1 はなの学童クラブ内  
TEL & FAX: 029-274-9910

## ■おながい

- お申し込み後、受講票を発送します。当日、受講票をお持ち下さい。
- 上履きをご持参下さい。
- 駐車場は限りがありますので、乗り合わせるか、公共交通機関をご利用ください。来場方法を申し込み用紙にご記入ください。
- 午後の講座「16 いっしょにあそぼう」に参加される方は、運動のできる服装、靴をご用意ください。
- 保育室(4歳以上)は準備しますが、十分ではありませんので、なるべく地域で解決してください。必要とされる方は必ず事前に申し込んでください。当日、保育料(300円：おやつ代と保険料)をいただきます。



(ふりがな)		性別	男・女
氏名		指導員歴	年目
		参加回数	回目
●クラブ名		クラブ電話番号	
●受講票送り先 <input type="checkbox"/> クラブ <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他( )			
(〒 - )		県	市・郡
町・村			
希望講座 (1~20)	第1( ) 第2( ) 第3( )	*必ず第3希望まで お書きください	
弁当希望	あり・なし ( ) ( ) ( ) ( )	保育希望	保育を希望される方はご記入ください ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) *特記事項
来場手段	駐車場確保の関係で来場手段をお聞かせしています。予定をご記入ください <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> 車( <input type="checkbox"/> 運転 <input type="checkbox"/> 同乗 ) <input type="checkbox"/> 貸切バス		

参加費 2,000円 + 弁当代 700円 × ( ) 計 円を添えて申し込みます。  
●参加費・弁当代を郵便為替にて入金し、払込書兼受領書のコピーと必要事項を記入した本申込書を郵送またはメールでお送りください。メールでの申し込みは、専用フォームが必要です。埼玉県学童保育連絡協議会にお問い合わせください。  
●締め切りは5月31日(火)です。弁当、保育の希望については、必ず事前に申し込みください。

## 9 子どものかかわり方 ~心療内科の視点から~

講師 ● 井川 均 (東京桜ヶ丘神経内科クリニック)  
言葉が荒い、すぐにキレる、手が出る、そんな様子を見せる子どもの背景には何があるのでしょうか。子どもたちは、様々な思いをかかえて学童保育に帰ってきます。「子どもの心によりそう」とことや「子どもの思いを受けとめる」とはどういうことか、指導員として子どもとどう関わっていくかを学びます。 III-6-③

## 10 教室の中の子どもたち ~学校と学童保育~

講師 ● 石塚美代子 (元小学校教諭、埼玉生活指導研究協議会常任委員)  
学童保育の子どもたちは昼間、学校と学童保育で生活しています。学校と、学童保育とで見る顔が違うこともよくあります。指導員は、学校での子ども様子をj知ること、子どもたちへの理解が深まります。学校現場は、「いじめ」や「学力」問題などたくさんの課題・問題を抱え、多くの教師は悩みながら子どもと向き合っています。学校は今どうなっているのか? 学校・教師と学童保育がどう連携して、子どもを支援していくかを学びます。 III-2-②

## 11 学童保育と家族支援 ~ネットワークづくりとスキルを学ぶ~

講師 ● 下浦忠治 (東京成徳大学講師)  
学童保育の役割の一つに、保護者を含めた家族支援があります。今日の非常に多様化した家族を支援するためには、学童保育だけでなく、関係機関との連携が不可欠です。また学童保育の専門性を活かした家族支援のスキルを意識することも大切です。学童保育における「家族支援」のネットワークづくりや、活用できるスキルなどについて学びます。 VI-5-⑥

### 実践講座 指導員の仕事を実践的に学びます

## 12 学童保育の生活とあそび

講師 ● 秋山賢太郎 (埼玉県さいたま市指導員)  
子どもにとってあそびは何かのためにするのではなく、それ自身が目的です。子どもたちは友だちとの関わりでいろいろなあそびを見つけ、また指導員も、いろいろなあそびを子どもたちに伝え、一緒にあそぶこともあります。学童保育の中でのあそびの意味、どう展開していくか、指導員の配慮の仕方などを学びます。 IV-2



## 13 子どもの生活を保護者と伝え合う

講師 ● 松本志保子 (埼玉県草加市指導員)  
保護者は、わが子が学童保育に楽しく通い、育っている実感があって、初めて安心して働き続けることができます。学童保育での子どもたちの様子を保護者に伝えることは指導員の大切な仕事です。保護者と伝え合うことの重要性、何をどのように伝え合うかを学びます。 IV-6

## 14 高学年を含めた生活づくり

講師 ● ノノ瀬香緒里 (群馬県碓氷市指導員)  
思春期の入り口にさしかかる高学年の子どもたちは、心と体に大きな変化が始まります。高学年の一人ひとりの子どもたちのおかれている状況や要求をとりえ、高学年を含めた生活づくりで大切にしたいことを学びます。 III-5

## 15 障害のある子を含めた生活づくり

講師 ● 川岸洋子 (栃木県足利市指導員)  
障害児のいる学童保育は増えています。障害のある子どもが学童保育の仲間として、ともに育ちあうための生活づくりとは何か、自分の要求を表現し仲間と関わっていけるように、どのような支援方法があるのか、具体的な実践から学びます。 III-4-③

### 実技講座 生活づくりの中で行われているあそび等について、実技の形で学びます

## 16 いっしょにあそぼう

講師 ● 柏木なほ子 (埼玉県飯沼市指導員)  
あそびは、学童保育の生活の中心です。指導員は、どの子にとっても魅力ある生活の場になるような様々なあそびや活動の選択肢を用意しておく必要があります。学童保育の中で楽しめる集団あそびを参加者が実際にあそびながら学びます。※ 運動できる服装、運動靴をご用意ください。 IV-3

## 17 つくってあそぼう

講師 ● 大内理嗣 (茨城県水戸市指導員)  
室内での楽しい遊びの一つは、材料をもとに何かを作り出すあそびです。参加者自身が手作り工作を実際に行いながら学びます。※材料費を別途いただきます。 IV-3

### 特別講座

## 18 指導員のチームワークづくり

講師 ● 永松範子 (神奈川県横浜須賀貫市指導員)  
指導員は運営指針等にそって、自ら判断して対処する場面が少なくありません。ときには、同僚と意見が食い違い、すぐに一致できないこともあります。職員間で折り合いをつけ、どう対応するかを決める必要があります。また同時に、それぞれが自分の課題意識にもとづき、継続的に子どもを観察し、ケース検討等を行うことで、職員集団としての共通理解を上げていくことが大切です。 II-3-③ III-3-⑤



## 19 放課後児童クラブの運営指針を学ぶ

講師 ● 小野さとみ (全国学童保育連絡協議会)  
昨年3月に厚生労働省より「放課後児童クラブ運営指針」が出されました。これは放課後児童クラブの役割と活動内容についての「全国的な標準仕様」として策定されたものです。「認定資格研修」の内容もこの「運営指針」がベースとなっているため、すべての指導員が身につける必要があります。「運営指針」の意義と内容、私たちの作ってきた「保育指針」等を学びます。

### 運動に関わる講座 学童保育をめぐる情勢と課題、指導員の労働条件改善など運動に関わる問題を考えます。

## 20 学童保育と指導員をめぐる情勢と課題

講師 ● 志村伸之 (全国学童保育連絡協議会)  
「子ども・子育て支援新制度」がスタートして2年目を迎えました。各地の学童保育は国の基準(省令)と各自治体の条例、「放課後児童クラブ運営指針」に基づいて運営され、放課後児童支援員の認定資格研修が各都道府県で始まっています。学童保育の目的、役割をふり返りながら、これからの学童保育のあり方、指導員の課題を確かめあい、運動の視点を学びます。 I-1-②

## 午後の講座

講座の末尾の番号は、全国学童保育連絡協議会が作成した「指導員の研修課題(試案)」に該当するものです。

### 入門講座 指導員として基本的な事項を学びます

## 1 学童保育とは何か、指導員の仕事・役割は何か

講師 ● 高橋 誠 (全国学童保育連絡協議会)  
学童保育は共働きの一人親家庭の保護者の労働を保障し、子どもたちの生活を守る場です。指導員は日々子どもたちの生活をつくることを通じて、保護者が安心して働くことを保障しています。そのためには、子どもたちの信頼に応える力量や指導員としての職業意識も求められます。学童保育の役割、指導員の仕事・役割・倫理等について学びます。 I-1-④ III-1

## 2 学童保育の生活で大切にしたいこと

講師 ● 河野伸枝 (全国学童保育連絡協議会)  
子どもたちは放課後の時間を楽しく過ごそうと学童保育に帰ってきます。指導員は、一人ひとりの子どもが安心してのびのび生活できる場を、子どもと一緒につくっていきます。学童保育の生活で大切にしたいこととは何か、指導員の関わり方を学びます。 II-1-①

## 3 学童保育の一日と指導員の仕事・毎日の実務

講師 ● 亀卦川 茂 (全国学童保育連絡協議会)  
子どもと一日過ごすにはいかに指導員も多いためにいでしょうか。宿題、おやつ、あそび、掃除・片付け等の流れをどうするか、行事などの取り組みをどうするか。年間の流れ、一日の流れをどうつくるかを具体的に学びます。また、指導員の仕事は、保育以外に打ち合わせ等の事前準備、保育記録などの事後のこと、保護者や学校、行政との連絡などもあります。それらの実務についても学びます。 II-3

## 4 子どものケガ・事故への対応、安全管理

講師 ● 布施晴美 (十文字学園女子大学教授)  
毎日を安全に過ごすことは生活づくりの基本です。そのための安全管理は重要です。万一ケガや事故が起こった場合でも最小限のものとなるように、対応をする必要があります。学童保育の現場でどんなケガや事故が起きやすいか、極力起こさないための安全管理、事後の対処などについて学びます。 II-2

## 5 日々の記録から実践の記録へ

講師 ● 山内由希 (埼玉県さいたま市指導員)  
日々の保育を記録することは、指導員自身が保育内容を振り返って確かめ、よりゆたかな実践をつくり出す上で大切な仕事です。記録をもとに指導員同士が話し合い、検討し、学びあうこと、この積み重ねが実践の向上につながります。しかし、実践の記録にとりこんでいる学童保育はまだまだ多くありません。実践を記録することの意味を学びます。 V-1

### 理論講座 子どものことをより深くとらえるために専門的に学びます

## 6 子どもの発達のおもしろさを学ぶ

講師 ● 森 静子 (関東短期大学教授)  
指導員の仕事を進めるうえで、子どもを深くとらえることが求められます。さらに今日、様々な要因から子どもたちの育ちに課題がある実態のなかで、子どもをよりよいにいとらえることが求められています。学童保育の子どもたちの発達の特徴や、今日的な特徴を理解した上で、子どもたちの成長をどう促していくかを学びます。 III-2

## 7 発達障害の子どもたちの理解と支援

講師 ● 大曾根邦彦 (心身障害児者療育会さつき会)  
生活の中で落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう「ちょっと気になる子」と言われる子ども。「LD」「ADHD」、発達障害等と特別扱いすることで解決することではありません。そうした子どもをどう理解し、支援していくか、学童保育の生活の中で何ができるかを考えましょう。 III-4

## 8 今日の子どもたちの心と身体

講師 ● 荒井育恵 (大宮開成中学校高等学校養護教諭)  
現在、子どもたちの身体のおかしさ、その心への影響が問題になっています。成長期にある子どもたちの心と身体について、食生活や生活リズムなど家庭や日常生活のあり方をとらえなおし、大切にしたいことを学びます。 III-6

